

仕事の中に「感動」を！（３）

お客様の“お心遣い”

◇「新入社員」の頃から

今回は29歳の男性のお客様との交流について、お話しさせていただきます。

そのお客様（以下Gさん）とは、勤務先の会社の「自動車保険」をご契約頂いていることからご縁が始まりました。Gさんは20代前半の独身の頃から存じ上げていたのですが、3年前に結婚され、今では一児のパパになられています。

そのGさんが独身の頃、法人所有の自動車で事故の被害者となり、大ケガをされました。その後の加害者との交渉にあたって、私どもで精一杯のご支援をさせていただきました。その結果、Gさんにとって満足の行く示談内容になり、勤務先の会社の社長様にも、当事者であるGさんにも、とても喜んで頂きました。

◇玄関の「ストーブ」

昨年12月、Gさんがご自宅を新築されました。「火災保険」の件もお願いしていたのですが、「融資先の銀行で勧められています。」とのことでしたので、こちらの出番はないと判断し、それ以上お話しませんでした。

ところが新居へ入居された直後、Gさんからお電話がありました。「銀行の担当者がうっかりしていたようで、どうもわが家は火災保険に加入していないようなのです。」との内容でした。銀行に再度確認されたところ、やはり加入されていないとのことでした。「もう銀行で火災保険に入るつもりはありません。火事でも起こったら大変なので、すぐにでもOSSさんで加入したいのですが。」とのお申し出です。

その日の午後8時に、Gさんの新居に伺いました。Gさん自身は仕事でご不在でしたので、奥様が対応して下さいました。「引越したばかりで、居間が散らかっておりますので。」と、玄関先での手続きとなりました。でも、その玄関先には、ストーブがありました。お伺いするかなり前からご準備頂いていたようで、とても暖かく感じました。またそれ以上に、そのお心遣いに対して感動を覚えました。

翌日、Gさんに「火災保険」お申し込みの御礼の電話をしました。その際、「昨晚の奥様のストーブには感動しました。素晴らしい奥様ですね。」とお話ししました。すると「いやあ、あのストーブは私が彼女に指示したのですよ。」とのお返事でした。

電話口で2人とも大笑いでした。

◇うれしかった「メール」

そのGさんから先日、写真を添付したメールを頂きました。以下そのメールからの抜粋です。

「こんにちは。〇〇の誕生祝いに頂いた“プーさんのリュック”がついに活躍する 때가来ました^^。最近リュックを見つけると、『プーたん』と言いながら自分で背負える様になりました。その時の写真です。3月14日で2歳になりますが、やっとリュックのことが分かるようになったみたいです。」

これは2年前のお子様お誕生の際に、プレゼントさせて頂いた“くまのプーさん”のリュックについての御礼のメールです。Gさんのようなお心遣いができる方と、保険を通じてお付き合いできるメありがたき幸せを身にしみて感じる今日この頃です。

岡武和暁

保険のOSS代表取締役

京都市山科区音羽前田町5-2-1

TEL 075-502-8451(コマルニハヨコイ)

okatake@oss-ins.jp